

# 産地パワーアップ事業の取組事例(28～30年度:計画作成主体:雲仙市農業再生協議会)(長崎県)

## 取組の概要

対象品目 : 野菜(ブロッコリー)(産地面積153.8ha)  
 主な取組主体 : 西部ブロッコリーパワーアップ組合他  
 成果目標 : 販売金額の10%以上の増加  
                     基準(H27年度) 576,401千円  
                     目標(R2年度) 667,304千円  
 導入施設等 : 整備事業(育苗施設)(育苗ハウス1,058㎡)  
                     生産支援事業(機械リース、生産資材の導入)  
                                     (リース:乗用半自動移植機、乗用管理機等、  
                                     資材:べたがけ資材)



長崎県雲仙市愛野・吾妻地区  
 (愛野町、吾妻町)

## ポイント

### 【取組の主題(テーマ)または課題】

ブロッコリーは収益性が高い品目として作付が行われているが、経営規模の拡大に伴い、市場ニーズへの対応や雇用労働力活用のために、安定的な生産体制の構築が一層求められている。そのため、高品質かつ安定した苗の供給体制を整備することで、出荷量の拡大を図るとともに、省力化機械の導入による栽培面積の拡大、生産安定化を目指す。

### 【産地の体質強化に向けた方策】

- ①計画的な定植の実現および増収のために、育苗施設を導入
- ②省力化および規模拡大のために、乗用半自動移植機、乗用型管理機などの省力化機械をリース導入
- ③厳寒期における安定生産、出荷のために、べたがけ資材を導入

## 推進体制

・島原振興局(県)  
 ・雲仙市  
 ・島原雲仙農協

雲仙市農業再生協議会  
 ①計画の策定・管理  
 ②取組計画への助言

指導・助言

情報共有

・協議会と取組主体との情報共有(取組状況等)  
 ・行政機関(県、市)及び農協によるサポート体制

取組主体  
 ①取組計画の作成  
 ②取組実施等

## 地域における独自の取組

### 〈主な取組〉

- 製氷機の導入による出荷品質の安定化
- 若手後継者会の活動支援(現地検討会、定例会)
- 新規就農者に対する技能研修および農地確保

## 期待される事業効果

### 【事業実施による直接効果】

- ①単位面積当たりの販売額が高いブロッコリーの作付面積、生産量の拡大
- ②育苗ハウスの導入により気象災害に左右されない計画的かつ優良苗の生産
- ③リース支援による初期投資の節減効果
- ④べたがけ資材による厳寒期の安定生産と作型分散

### 【事業実施による間接効果】

- ①苗質の向上による生産拡大および安定出荷、ロットの確保により、有利販売が可能

販売額が**62%増加**

(達成率 **393.0%**)

